

「第10回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	屋敷谷川通常砂防工事「測量設計及び地質調査業務委託」（国補正）
	業務発注者名	鳥取県中部総合事務所県土整備局
発表者	所属協会名	鳥取県測量設計業協会
	所属会社	鵬技術コンサルタント（株）
	発表者名	高松 宏

発表事例の概要

＜図表も含め1000字(40字×25行)程度以内＞

1. 業務の内容

本業務は、鳥取県中部総合事務所県土整備局管内の倉吉市下余戸地内における土石流危険溪流：屋敷谷川について、土石流発生時の保全対象人家や市立西郷小学校等の公共施設の安全を確保するため、砂防えん堤並びに管理用道路の詳細設計と設計に伴う測量、地質調査を行うことを目的とした。

2. 想定される高評価の要因

(1) 予備設計の内容把握および問題点の解消

・管理用道路は、予備設計ではえん堤左岸に配置するルートで計画されていたため、問題点を抽出しルートの再設定・提案を行った。

小学校グラウンドの用地買収の可否、施工時における問題（万能板等による目隠し、遊具の撤去）の解消、周辺の支障物件の再踏査、小学校への聞き取りを行った結果、右岸ルートへの見直し計画とした。

(2) 業務期間における工程管理

・R3年7月梅雨前線豪雨による中部管内の河川災害が多数発生した。
災害業務【当社受持県河川16箇所L≒450m】との同時進行が必要であったことから工程管理、人員確保・人員配置を徹底し、遅延なく工期内に納品した。

(3) 現地作業における安全管理

・7月梅雨前線豪雨ほか降雨時の現場確認（土砂の流出状況、ボーリング機材の転倒等）を実施。
・ボーリング調査は、作業期間の児童への安全に注意を払い、小学校（校長・教頭先生）との事前協議を行い、小学生の立ち入りを制限するための規制線設置を実施した。小学生への周知は教頭先生へお願いした。

3. 業務遂行上、苦勞した点や工夫した点

① 小学校敷地内への立ち入り

作業日時、作業時間、人数、作業時の服装を事前に小学校側（教頭先生）へ連絡し、当日の開始・終了時に必ず挨拶を行った。また、学校行事（運動会など）や学校を使用した地区行事の時の立ち入りを回避した。

② 市管理者との調整

事業概要等は倉吉市各課（建設課、財務課、教育委員会、コミュニティーセンター等）との調整が必要であった。合同協議の場を提案し実施（計3回）したことにより、相互の情報提供・収集に漏れが無かった。

* 概要書記載上の留意事項

- ① 業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ② 表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③ 業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等を簡潔に記載

* 発表資料作成上の留意事項

- ① パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ② 上記の概要書記載上の留意事項①～③に留意して作成